

## 団体名

## 私のしなの未来委員会

## 実施内容

令和8年2月15日実施

松本市子ども未来委員会のOBOG、現役委員、未来委員会の大学生サポーター、また行政の方が参加した。当日は午前の部を立ち上げ検討会のワークショップとし、午後は現委員（11期生）とOBOGとの交流を行った。午前のワークショップでは、オンラインも交えたハイブリット方式で現地に来ることができなかったOBOGとも繋ぎ、未来委員会の現状と、同窓会という「出口」の必要性、またその出口はどうあるべきか、ということについてワークショップを通し検討した。

## 目的

現在未来委員会では、昨年度の10期までで346名抱える修了生がいる。しかしながら、修了後のコミュニティはなく松本との関係性も維持されないことが課題であった。

そのため、修了後も継続して関わりを持てる縦のつながりを新たに構築し、若者と松本市をつなぐきっかけとして同窓会という位置付けを用意し、本企画を今回実践した。

## 効果

本企画を通して、つながるきっかけが用意できたと感じる。実際に未来委員の所属期としては被っていなかった方々がこの場をきっかけに繋がり、未来委員会と松本市、という共通の話題から交流をすることができていた。

また、未来委員会の現状に触れ、自分たちは何を求められ、自分たちの今の立場、視点ではどのようなことが可能か、どのようなことをしたいか、と未来視点を持って交流と想像を膨らませていた。

今回の企画で終わることなく、実際に同窓会立ち上げを検討するチームがDiscordというアプリを使用し立ち上がり、現在もどのような同窓会の形が良いのか、同窓会の発足に向かい検討が進んでいる。

## 今後の課題

同窓会の形が整備され、実装された場合に今回の同窓会企画に参加できなかった、また役所としても連絡を取ることができないOBOGへどのように同窓会発足の案内を出すのか、という点。

また、役所としては同窓会の自治性のある程度求めていると思うのだが、同窓会としてまつもと子ども未来委員会と関係を保ち続ける必要があるため、今後どのような形で行政側、そして現委員側と連携していくか、という点。

また、担当職員によって同窓会の捉え方、関わり方が変化してしまうと、同窓会として組織立てたものを用意しても職員の異動ごとに修正する必要も出てくる恐れがあるため、同窓会との関わり方はある程度固定の位置付けのものとして役所側ともすり合わせを検討していきたい。

## 事業実施経過

年月	実施事項
令和8年1月29日	OBOGへの企画案内通知
令和8年2月15日	事業（企画）当日